

新島講座・講演内容公刊のご案内

新島講座は、新島基金の目的に沿って、内外の碩学を招聘し、本学園教職員・学生・生徒をはじめ同志社関係の教育・研究の向上、発展に資するため、毎年開催される予定です。なお、いままでに開催されました講座の内容をまとめ、次のとおり公刊しております。

○第一回講座 一九七九年

アーモスト大学副学長
ブロッサー・ギフォード博士
(Dr. Prosser Gifford)
The Liberal Arts Today
頒価七〇〇円

○第二回講座 一九八〇年

ハーヴァード大学教授
リチャード・R・ニーバー博士
(Dr. Richard R. Niebuhr)

○第三回講座 一九八一年

Streams of Grace : Studies of Jonathan Edwards, Samuel Taylor Coleridge and William James
頒価一、三〇〇円

プリンストン大学教授

チャールズ・C・ギリスビー博士

(Dr. Charles C. Gillispie)

The Professionalization of Science : France 1770-1830 Compared to the United States 1910-1970
頒価七〇〇円

頒価七〇〇円

○第四回講座 一九八二年

ロンガン大学 (SOAS) 教授・日本研究所
所長

ウィリアム・G・ビーズリー博士

(Dr. William G. Beasley)

○第五回講座 一九八三年

Changing British Views of Japan Since the 19th Century
頒価一、〇〇〇円

コーネル大学教授

セオドア・J・ロウィ博士

(Dr. Theodore J. Lowi)

Liberatism, Conservatism, and American Politics
頒価五〇〇円

○第六回講座 一九八四年

南京大学副学長・南京協和神学院院長
中国基督教三自愛国運動委員会主席
丁光訓先生 (K. H. Ting)
Christian Witness in China Today
頒価七〇〇円

○第七回講座 一九八四年

ロンドン大学 (SOAS) 教授・言語部長
ロバート・H・ロビンズ博士

(Dr. Robert H. Robins)
*Theoretical and Applied Linguistics,
Past, Present, and Future* 頒価五〇〇円

○第八回講座 一九八五年

プリンストン高等研究所教授
モートン・G・ホワイト博士

(Dr. Morton G. White)
*Pragmatism and the Politics of Epis-
temology* 頒価八〇〇円

○第九回講座 一九八五年

中国科学院自然科学史研究所(北京)教授
潘 吉星先生 (Jixing Pan)

*On Two Problems in the History of
Science: The Origin of Rockets and
Charles Darwin's Chinese Sources*
頒価五〇〇円

○第十回講座 一九八六年

ロックフェラー大学名誉教授
ニール・E・ミラー博士

(Dr. Neal E. Miller)

*Medical Psychology: Experimental
Studies of Fear (Anxiety) and Their
Clinical Implications Effects of Psycho-
logical Stress and Coping on the
Health of the Body* 頒価一、五〇〇円

○第十一回講座 一九八七年

中国西北大学校長

張 豈 之 教授 (Zhang Qi Zhi)
儒学思想的歴史演進
《三國演義》與事業成功之道
頒価八〇〇円

○第十二回講座 一九八八年

イエール大学名誉教授

ジョン・W・ホール博士
(Dr. John Whitney Hall)
*Japan in the mind of America and
Idyllic Kyoto before Pearl Harbor*
頒価八〇〇円

○第十三回講座 一九八九年

ハーヴァード大学名誉教授

ジェローム・H・バックリー博士

(Dr. Jerome H. Buckley)
*Nineteenth-Century Autobiography:
Newman, Mill, Nesima, and
Uchimura
God and Nature in the Poetry of
Tennyson and Hopkins* 頒価八〇〇円

○第一回東京講座 一九八一年

『環境と法律 —ハーヴァード・ロー・ス
クールで教えて—』

元同志社大学法学部教授・現東京大学法
学部教授 藤倉皓一郎

『時間と人間の経済活動』
同志社大学経済学部教授 榊原胖夫

○第二回東京講座 一九八二年

『白砂を訪ねて—鳴き砂の秘密—』
同志社大学工学部教授 三輪茂雄

○第三回東京講座 一九八二年

『縁起絵巻の世界—日本人の信仰に関連
して—』

紹介

同志社大学文学部教授 笠井昌昭

『財閥の家憲と華族の家憲——とくに財産管理について——』

同志社大学商学部教授 安岡重明

○第四回東京講座 一九八三年

『新島襄全集をめぐって——新島襄と仏教徒たち——』

学校法人同志社社史資料室室長

河野仁昭

『同志社ラグビーとともに』

同志社大学文学部教授 岡 仁詩

○第五回東京講座 一九八四年

『新島襄と科学』

同志社大学工学部教授 島尾永康

『最近の医療問題』

同志社大学法学部教授 大谷 實

○第六回東京講座 一九八五年

『高齢化社会の生活構造と生活問題』

同志社女子大学教授 坂本武人

『新島襄と自然科学教育』

同志社大学工学部教授 末光力作

○第七回東京講座 一九八六年

『マツタケの文化誌』

同志社女子大学教授 小原弘之

『カジノ資本主義』の登場

——高まる不確実性と現代企業の対応——

同志社大学商学部教授 杉江雅彦

○第八回東京講座 一九八七年

『教育者 新島 襄』

同志社大学文学部教授 井上勝也

『産業構造の大転換と二十一世紀への道——新島 襄と加藤与五郎——』

同志社大学工学部教授 奥田 聰

○第九回東京講座 一九八八年

『抑圧と飛躍の青春——幕末の新島襄——』

同志社大学法学部教授 伊藤彌彦

『江戸期の宮廷と菓子——粽屋道喜の文書から——』

同志社女子大学教授 林 淳一

○第十回東京講座 一九八九年

『パトロン——イギリス文化を支えた人々——』

同志社女子大学教授 小林章夫

『京都「町内」のなりたち』

同志社大学人文科学研究所教授

仲村 研

○第十一回東京講座 一九九〇年

『大人と子どもの間の文字』

同志社女子大学教授 上野 瞭

『日本・環太平洋のピラミッド——文化と人類移動の謎を追って——』

同志社大学文学部教授 小川光暁

○第十二回東京講座 一九九一年

『冷泉家の成立——俊成・定家にふれて——』

同志社女子大学教授 龍谷 寿

『琵琶湖移動説——琵琶湖の生い立ちと今の琵琶湖——』

同志社大学工学部教授 横山卓雄

各冊子とも頒価五〇〇円

発行者・学校法人同志社

取扱い・同志社収益事業課

(電話〇七五—二五一—三〇三七七八)